

整形外科

1. 目的と特徴

礼儀正しく、常に患者さんと疾病、障害を共有できる温かな心、豊かな人間性を持つこと、およびチーム医療に積極的な貢献と責任を持ち、プライマリーケアと最新技術への挑戦のできる医師の育成をすることを目的とする。狭い専門分野に留まることなく、全ての整形外科領域に通用する知識と技術を修得し、臨床現場へ実践応用することで、社会に貢献できる体幹・四肢の運動器疾患を扱う優れた整形外科医師の完成を目指す。具体的には、大学病院ならびに関連施設において、医師としての基本的な人格、見識、態度を納め、患者に接することを学ぶ。また、基本的な知識、技能、態度を修得、4年後の整形外科専門医取得にむけての臨床研修を行う。整形外科は東京女子医科大学本院、足立医療センター、八千代医療センターとともに研修を連携し、統一研修プログラムを行っている。本院整形外科を中核病院とする東京女子医大整形グループを構築している。

2. 指導スタッフ

教授・基幹分野長	岡崎 賢
教授	猪狩勝則
准教授	宗像裕太郎、矢野絃一郎
講師	伊藤匡史、土肥透、桑島海人、富永絢子
助教	井上知久、倉光祐二郎、山田晃史、肥沼直子、菅谷潤、大和志匡、班目ひろみ、原由理子

3. 研修施設

基幹施設：東京女子医科大学整形外科教室

研修連携施設：東京女子医科大学附属足立医療センター、東京女子医科大学附属八千代医療センター

研修協力施設：至誠会第二病院、東名厚木病院、平和台病院、蓮田病院、船橋総合病院、国立がんセンター、千葉県こども病院、鎌ヶ谷総合病院、横畠病院、埼玉協同病院、城東病院、高木病院

4. 研修プログラム

A：一般目標

豊かな人間性、幅広い見識、社会に貢献する使命感と責任を持ち、また、プライマリーケア、および整形外科臨床に精通する医師となるために、整形外科に必要な基礎知識、技術を修得する。患者さんを思いやる暖かな心を身につける。

B：行動目標

- 1) 整形外科診療に必要な基礎知識を習得し、臨床へ実践する。
- 2) 整形外科診療に必要な検査・処置・麻酔に習熟する。
- 3) 整形外科プライマリーケアの修得と実践を行う。
- 4) メディカルスタッフと協力し患者の問題点を解決し、チーム医療を実践する。
- 5) 患者、家族の訴えを真摯に聞き、患者の病状に対して思いやりを示すとともに医師患者間の信頼関係の形成に努める。
- 6) 患者、家族に病状、治療方針を説明する。
- 7) 医療安全管理の基本を実践する。

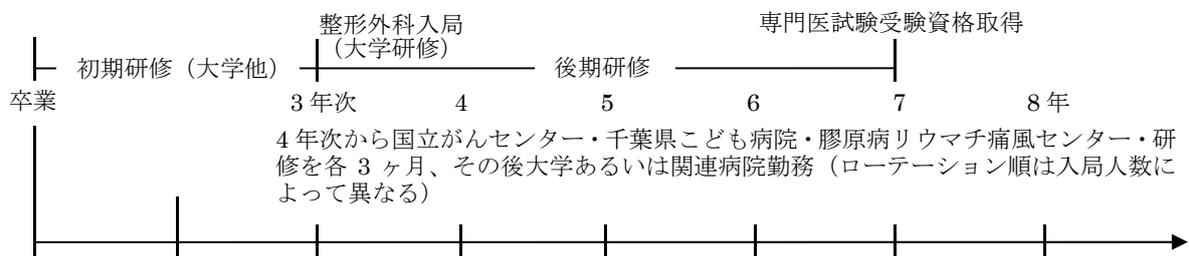
- 8) 病態を把握し、必要かつ十分な検査を実施する。
- 9) 治療方針などについて積極的にカンファレンスに参加討論し、検討を十分に行う。
- 10) 最新の医療情報を取得できる能力を身に付け、診療に必要な最新知識を取得する。
- 11) 学会に参加し、発表すること、またその内容を論文にする。
- 12) 医療記録（診療録、手術記録、病歴要約）、診断書、報告書を遅滞なく正確に記載する。
- 13) 整形外科専門医を取得する。

C：年次別研修スケジュールと研修内容概略

以下は基本的なスケジュールであり、変更となることがある。

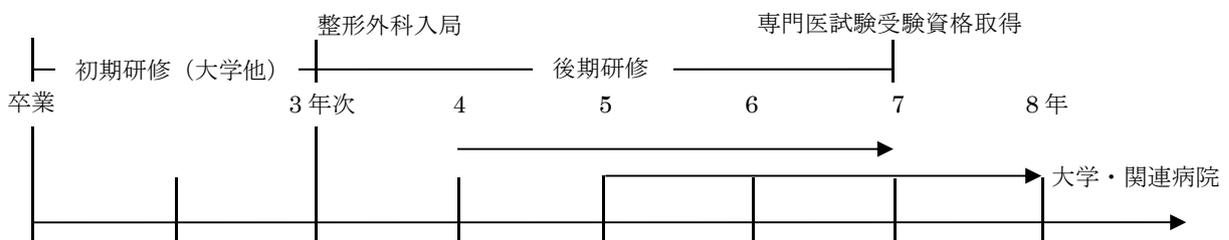
大学院入学を希望するものは、協議のうえ研修スケジュールの変更が可能である。

[一般臨床を目指す医師]



- 博士号希望者（医博乙）は、専門医取得前より基礎あるいは臨床研究の希望を受け付ける。テーマは教授より提案。
- 整形外科各分野の専門を希望する者は、5年目以降適宜希望を受け付ける。

[大学院を希望する医師（医学博士甲）]



- 大学院入学は4年目以降、適宜受け付ける。
- 臨床系大学院、基礎系大学院につき希望を聞き、希望を優先する。

D：週間予定

以下は基本的なスケジュールであり、変更となることがある。

月	手術症例カンファレンス	教授回診	病棟・検査・手術	抄読会	予演会	医局会
火	朝カンファレンス		病棟・検査			
水	朝カンファレンス		病棟・検査・手術			
木	朝カンファレンス		病棟・検査・手術			
金	朝カンファレンス		病棟・検査・手術			
土	朝カンファレンス		病棟・検査			

その他、不定期で整形外科主催のセミナー、年一度の卒後研修セミナーを開催している。

E：評価

後期臨床研修到達目標のほか、日本整形外科学会専門医制度を熟知させ、自己評価をさせると共に提示症例の資料などの準備を行わせる。臨床面のみならず学会発表、論文発表を含めて年度毎にスタッフ医長、教授・基幹分野長によるチェックと評価が行われる。

5. 後期臨床研修修了後の進路

後期臨床研修修了後、東京女子医科大学整形外科教室に就職を希望するものは、整形外科教授・基幹分野長と相談し、助手又は助教として採用も可能。

6. 学位

研究論文が掲載された後、教授・基幹分野長との協議のもと、医学博士の学位の申請が可能である。

臨床大学院入学者は 4 年間で研究を終え、研究論文を投稿し学位を取得できる。

7. 専門医

整形外科専門医を期間中に取得する。日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医、日本手の外科学会専門医、日本体育協会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、日本リウマチ学会専門医、日本リハビリテーション医学会専門医などの取得が可能である。

8. 問い合わせ先

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学整形外科教室

指導医リーダー 桑島海人

TEL : 03-3353-8111 (代 38333)

FAX : 03-3354-7360

E-mail : umitokuwashima@gmail.com

東京女子医科大学整形外科ホームページもご覧ください。

URL : <https://www.twmu.ac.jp/TWMU/Medicine/RinshoKouza/061/>